

9月28、29の両日に市内で開かれた「秦野たばこ祭」を農家や女性部員らが盛り上げた。地場産農産物を使った料理を提供する模擬店を出店した。

たばこ祭

り、「たばこ音頭千人パレード」に参加したりするなど、さまざまな活動を通じて多くの来場者に地場産の魅力や同部の活動などをPRした。

農家が盛り上げ 女性部員も活躍

秦野産の魅力が満載 農家レストラン出店

農産加工品を製造するに付け、安全・安心な地場産農産物を使用していることなどを来場者に呼び掛けた。

同店は8年前から毎年出店し、多くの人に秦野産の魅力を伝えてきた。今年も、地場産野菜の加工品や焼きそば、たけのこ飯など、7品を販売。購入者からは「野菜がたっぷりとてもおいしい」「子どもにも安心して食べさせられる」など人気を集めた。

今年も東海大学の学生ボランティアが協力。約20人が「うちほおのうめえもん 食ってっけえろ」という同店の合言葉が書かれたエプロンを身に着けた。

同店実行委員会の高橋由美子代表は「ボランティアの学生が盛り上げてくれて、とても助かった」と笑顔で話した。

9月29日には女性部員らにぎわい会場内を踊りながら練り歩いた。同パレードは、祭りの一環として、多くの来場者にも多くのお客様が詰りながら花を添えた。

同部の熊澤淳子部長は「オリジナル浴衣を作ったことで、今まで以上に一体感を持って踊ることができた。今後も参加を続け、部をPRしていきたい」と笑顔を見せた。

め掛けるメインプログラム。今年も同市のレクリエーション協会や園児など、1000人以上の市民らが参加した。

部員らは、今年製作した同部のオリジナル浴衣を着て「たばこ音頭」を踊りながら約17分間の道を行進。沿道の見物客からは「そりい浴衣がきれい」など歓声が上がった。JAの女性職員にも参加を呼び掛け、同部とJAが一体となって祭りに花を添えた。

同部の熊澤淳子部長は「オリジナル浴衣を作ったことで、今まで以上に一体感を持って踊ることができた。今後も参加を続け、部をPRしていきたい」と笑顔を見せた。

戸川でユリやストックなどを栽培する林道弘さん。長野県川上村の農家に生まれ育ち、大学進学をきっかけに上京。卒業後は都内の製菓会社に勤めたが、帰省した際に自然の中での仕事に魅力を感じ、就職を退職し、13年間働いた会社を退職して秦野市に移り住み、花の栽培を始めた。

戸川でユリやストックなどを栽培する林道弘さん。長野県川上村の農家に生まれ育ち、大学進学をきっかけに上京。卒業後は都内の製菓会社に勤めたが、帰省した際に自然の中での仕事に魅力を感じ、就職を退職し、13年間働いた会社を退職して秦野市に移り住み、花の栽培を始めた。

就農当初は何もかもが手探りだったが、青年部の仲間やJA職員らのサポートを受けながら日々の農業に励んだ。「地域のいろいろな人たちの支えがあったから、これから栽培を始める」と笑顔を見せた。

就農当初は何もかもが手探りだったが、青年部の仲間やJA職員らのサポートを受けながら日々の農業に励んだ。「地域のいろいろな人たちの支えがあったから、これから栽培を始める」と笑顔を見せた。

就農当初は何もかもが手探りだったが、青年部の仲間やJA職員らのサポートを受けながら日々の農業に励んだ。「地域のいろいろな人たちの支えがあったから、これから栽培を始める」と笑顔を見せた。

就農当初は何もかもが手探りだったが、青年部の仲間やJA職員らのサポートを受けながら日々の農業に励んだ。「地域のいろいろな人たちの支えがあったから、これから栽培を始める」と笑顔を見せた。

就農当初は何もかもが手探りだったが、青年部の仲間やJA職員らのサポートを受けながら日々の農業に励んだ。「地域のいろいろな人たちの支えがあったから、これから栽培を始める」と笑顔を見せた。

就農当初は何もかもが手探りだったが、青年部の仲間やJA職員らのサポートを受けながら日々の農業に励んだ。「地域のいろいろな人たちの支えがあったから、これから栽培を始める」と笑顔を見せた。

就農当初は何もかもが手探りだったが、青年部の仲間やJA職員らのサポートを受けながら日々の農業に励んだ。「地域のいろいろな人たちの支えがあったから、これから栽培を始める」と笑顔を見せた。

就農当初は何もかもが手探りだったが、青年部の仲間やJA職員らのサポートを受けながら日々の農業に励んだ。「地域のいろいろな人たちの支えがあったから、これから栽培を始める」と笑顔を見せた。

農業を身近に感じて 支所運営委が収穫体験

大根



落花生を収穫する参加者

栽培管理を進めてきた。5日、鶴巻の畑で「組合員のついで」を開いた。組合員ら23組45人が参加し、落花生とサツマイモの収穫を体験した。同会は、幅広い世代に農業を身近に感じてもらうと、3年前に同企画をスタート。今年も初めて、地域の荒廃農地を委員が整備して実施した。委員が6月に播種（はしゅ）と植え付けを行い、草刈りや施肥などの

栽培管理を進めてきた。5日、鶴巻の畑で「組合員のついで」を開いた。組合員ら23組45人が参加し、落花生とサツマイモの収穫を体験した。同会は、幅広い世代に農業を身近に感じてもらうと、3年前に同企画をスタート。今年も初めて、地域の荒廃農地を委員が整備して実施した。委員が6月に播種（はしゅ）と植え付けを行い、草刈りや施肥などの

栽培管理を進めてきた。5日、鶴巻の畑で「組合員のついで」を開いた。組合員ら23組45人が参加し、落花生とサツマイモの収穫を体験した。同会は、幅広い世代に農業を身近に感じてもらうと、3年前に同企画をスタート。今年も初めて、地域の荒廃農地を委員が整備して実施した。委員が6月に播種（はしゅ）と植え付けを行い、草刈りや施肥などの

栽培管理を進めてきた。5日、鶴巻の畑で「組合員のついで」を開いた。組合員ら23組45人が参加し、落花生とサツマイモの収穫を体験した。同会は、幅広い世代に農業を身近に感じてもらうと、3年前に同企画をスタート。今年も初めて、地域の荒廃農地を委員が整備して実施した。委員が6月に播種（はしゅ）と植え付けを行い、草刈りや施肥などの

栽培管理を進めてきた。5日、鶴巻の畑で「組合員のついで」を開いた。組合員ら23組45人が参加し、落花生とサツマイモの収穫を体験した。同会は、幅広い世代に農業を身近に感じてもらうと、3年前に同企画をスタート。今年も初めて、地域の荒廃農地を委員が整備して実施した。委員が6月に播種（はしゅ）と植え付けを行い、草刈りや施肥などの

栽培管理を進めてきた。5日、鶴巻の畑で「組合員のついで」を開いた。組合員ら23組45人が参加し、落花生とサツマイモの収穫を体験した。同会は、幅広い世代に農業を身近に感じてもらうと、3年前に同企画をスタート。今年も初めて、地域の荒廃農地を委員が整備して実施した。委員が6月に播種（はしゅ）と植え付けを行い、草刈りや施肥などの

栽培管理を進めてきた。5日、鶴巻の畑で「組合員のついで」を開いた。組合員ら23組45人が参加し、落花生とサツマイモの収穫を体験した。同会は、幅広い世代に農業を身近に感じてもらうと、3年前に同企画をスタート。今年も初めて、地域の荒廃農地を委員が整備して実施した。委員が6月に播種（はしゅ）と植え付けを行い、草刈りや施肥などの

やえのちゃんぴーなマンの「JAってなに??」



「LA」というマークのバッジを付けているJA職員がいたんだけど、どんなことをしているのかな？やえのちゃんは知っている？



Life Adviser（ライフアドバイザー）の略称ね。JA共済について専門的な知識を持っていて、コンサルタント的な役割を担っているJA職員のことよ。1994年度から

共済の相談はLAに

養成が始まって、全国各地で活動しているわ。JAはだのでも各支所・支店にLAがいるのよ。組合員の所に出向いて、生命や建物などさまざまな共済を提案したり、相談に乗ったりしているわ。連絡すれば自宅まで来てくれるから、気軽に聞いてみてね。

台風をきっかけに、家の共済を見直そうと思っていたんだ。地域のLAに相談してみよう。教えてくれてありがとう、やえのちゃん。

台風をきっかけに、家の共済を見直そうと思っていたんだ。地域のLAに相談してみよう。教えてくれてありがとう、やえのちゃん。



たわに実った「はるみ」の稲穂

秋晴れ 米の収穫作業に汗

JAはだの管内で9月下旬、稲の刈り取りがスタートした。約140袋（1袋30㍓）をJA



風の影響が心配だったが、粒が大きく良い米ができた。ぜひ多くの消費者に味わってもらいたい」と笑顔を見せた。

（2面に関連記事）

農業まつりにご来場を

11月16、17日開催

ヒーローショーやバザーも

台風19号 市内農業に深い爪痕

畑の土砂崩れ、冠水 温室のガラス破損も

相談はJAへ



茶畑の被害状況を確認するJAと市の職員（苦提で）

は、各地でさまざまな被害が発生。特に北地区では、多くの組合は、降雨の影響で茶畑が

は、各地でさまざまな被害が発生。特に北地区では、多くの組合は、降雨の影響で茶畑が

82会場で秋の座談会

JA運営に組合員の声

JAはだのは9月30日、10月10日、市内82会場で秋の座談会を開いた。今後のJA運営に組合員の声を反映していくことが目的。1102人の組合員が出席した。

各会場では、2019年度上半期の活動報告や自己改革の取り組みなどについて説明。組合員から

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

J A は だ の

発行 市農業協同組合（神奈川県）
〒257-0015 秦野市平沢477
電話0463(81)7711(代)
発行責任者 宮永 均

今月の特集 4～5面

秦野産キウイフルーツ人気
高い糖度と食味の良さなどから、人気を集めているキウイフルーツ。JAは振興作物の一つに位置付け、生産拡大を後押ししている。

落花生の加工品を紹介 FMOヨハマで放送
11月2日（土）午前8時から放送する、FMOヨハマ「JA Fresh Market」は、秦野産の農産物を使った加工品がテーマです。



ベジフルDJの中西希さんが、じばさんずにはさまざまな加工品を出荷している堀山下の太木敏子さんの加工所を訪ね、落花生を使った料理に挑戦します。レシピも紹介しますので、ぜひお聞きください。

ベジフルDJの中西希さんが、じばさんずにはさまざまな加工品を出荷している堀山下の太木敏子さんの加工所を訪ね、落花生を使った料理に挑戦します。レシピも紹介しますので、ぜひお聞きください。

ラーメン店に油そばも誕生



秦野産小麦の魅力が詰まった油そば

秦野産小麦の使用店広がる

秦野産小麦を使用するパン屋や飲食店などが続々と増えている。2018年に市内9店舗だった取扱店舗は、今年9月までに6店舗増加。県内外でも増え、多くの店舗が「秦野小麦出荷組合」とTAC（地域農業の担い手）に出向くJA担当者（JAは同年から小麦の生産拡大に着手。市内の小麦生産者が構成する製粉業者のサポート

を受けて販路の拡大を進めてきた。取扱店舗の一つである「味乃大久保」では6月下旬から、強力品種の「ゆめかおり」を使った油そばを提供。もちもちした食感の太麺で、小麦の豊かな風味が特徴の一品だ。9月からはじばさんずでチャーシューとたれをセットにした油そばの販売も始めた。

同店の小野瀬幸弘店長は「今後も地場産の良さを生かした料理を提供しながら、地域に貢献していきたい」と意気込みを語った。

「秦野日帰りモ」の利用者の親子ら13組21人が参加した。参加者らは、じばさんずで冷凍でラッカセイ「うでビー」などの特産物を購入。前日も訪れた「わさびや茶園」では、園主の山口勇さんの茶園と周辺の里山などについて説明を受けた。稲刈りや芋掘りなどの体験活動も予定されている。

「秦野市農業経営士会」は、7～8月に開いた小学生農業体験学習に参加した児童の作文を、文集にまとめた。発行した。次世代の農業理解促進につなげるのが狙い。参加した児童25人の他、市内の全13小学校やJAなどの各支所・支店にも配布した。

文集はA4判22ページ。『毎日暑い中、大変な作業を行ってくださいます。ありがとうございました。これから、食べ物を作ってくれた人のことを考えて、残さず食べようと思ひました』など、児童一人一人の思いが込められた手書きの作文を掲載。野菜や茶、花きの農作業を体験している様子もカラー写真で紹介した。

山口勇会長は「名誉会員の協力もあり、児童を受け入れることができた。児童には体験を通じて、ふるさとの自然や農作業の大切さを感じてもらえたらと思う」と話した。

業の大切さを感じてもらえたらと思う」と話した。

「77歳(喜寿)」

▽大根地区Ⅱ水野宏一(南矢名)

▽本町地区Ⅱ小野塚久記(本町) 稲本豊子(曾屋)

▽東地区Ⅱ大津通信(東田原)

▽南地区Ⅱ福森香代子(平沢) 鈴木秀治(室町)

▽西地区Ⅱ大沢勝彦(堀西)

▽上地区Ⅱ府川靖枝(豊薄) 和田薫(柳川)

※自己申告ですので、該当の方は各支所・支店までご連絡ください。

「88歳(米寿)」

▽大根地区Ⅱ金井章悟(鶴巻南) 今野紀久子(北矢名)

▽西地区Ⅱ諸星マサ子(沢沢) 岩田テリ子(沼代新町)

▽上地区Ⅱ牧石愛子(八沢)



箱詰め作業が進む「丹沢レッド」

期待の品種は「丹沢レッド」

9月下旬には赤系キウイの中心が赤く、熟すと15度フルツ「丹沢レッド」の以上ある高い糖度と食味の出荷がピークとなった。その良さが特徴。同部が9年ほどの後も連日、果樹部会キウイ部から生産拡大に取り組み、フルツ部の部員9人が、近頃は収穫作業に励み、今シーズンは約8トを出荷した。「丹沢レッド」は、果肉で、4月下旬の晩霜や9月上旬の台風の影響を受けたものの、全体的に大玉で甘さのある果実に仕上がった。

キウイ

高い糖度と食味の良さなどから、人気を集めているキウイフルツ。秦野市内では、果樹部会キウイフルツ部の部員が、定番品種の「ハイワード」や赤い果肉が特徴の「丹沢レッド」などを中心に栽培している。JAはだの第三次地域農業振興計画の中で新たに振興作物の一つに位置付け、栽培指導などを通じて生産拡大を後押ししている。

栽培の歴史

キウイフルーツは1904年に原産地である中国南部から、ニュージーランドに種が持ち込まれて品種改良された後、現在のキウイフルーツの原種が誕生した。諸説あるが、日本での栽培は73年に、全国に先駆けて石川県で生産されるようになったなどといわれている。高い栄養価も特徴で、ビタミンCや食物繊維などを多く含んでいることから、美容や健康にも良いと注目を集めている。

秦野産 1977年から生産拡大

「秦野市農協二十年史」によると、秦野市でキウイフルーツの栽培が始まったのは77年。本町、東、北地区の生産者6人が栽培を始め、当時の植栽面積は60%だった。3年後にはJAを通じ、京浜市場へ初出荷。翌年、キウイフルツ部を組織し、7人の部員で活動が始まった。現在は部員が18人に増え、栽培面積も2・5畓まで増加し、生産拡大が進んでいる。

爽やかな甘さで人気

9日には、果樹部会キウイフルツ部が、市内にある部員の果樹園を巡回し、生育状況を調査した。キウイフルツ「ハイワード」の園の管理状況や収量の見込みを把握しようと、部員の他、県農業技術センターとJA営農課の職員合わせて11人が、18園を回った。部員らは、糖度計を使って、糖度を調べたり、実の大きさを確認したりしながら、今年の品質などについて、旬に収穫し、冷蔵して追熟ドの管理状況や収量の見込みを把握しようと、部員の他、県農業技術センターとJA営農課の職員合わせて11人が、18園を回った。

出荷へ準備着々



ハイワードの着果量を調べる部員

たりの着果量などから、園全体の収穫量の見込みを算出している。JAはだの11月上旬には、果樹部会キウイフルツ部の部員が、市内にある部員の果樹園を巡回し、生育状況を調査した。キウイフルツ「ハイワード」の園の管理状況や収量の見込みを把握しようと、部員の他、県農業技術センターとJA営農課の職員合わせて11人が、18園を回った。

振込み詐欺やキャッシュカード回収型詐欺などの特殊詐欺の被害が市内で発生している。手口が巧妙化する中、JAはだのは利用者の貯金を守るため、秦野警察署と連携して被害の防止に取り組んでいる。窓口や渉外を担当する職員が、利用者と警察と連携して被害の防止に取り組んでいる。

「びーなマン焼き」など販売します。協同組合の仲間のバルシステムやユーコープ、来場を。生活クラブ生協も模擬店を出店します。皆さまお誘い合わせの上、ぜひご来場を。

市民に畜産業への理解を深めてもらうことが目的。地域住民ら約500人が訪れ、会場はにぎわいを見せた。同会は、秦野産の豚肉を使った模擬店などを出店した他、来場者に牛乳の試飲を勧め畜産業をPR。畜産動物と触れ合う「小動物ふれあいコーナー」では「ヤギさんかわいい」「ふわふわで気持ち良かった」など子どもたちの笑顔があふれた。

当日は、第63回畜産共進会も併せて実施。生産者が丹精して育てた乳牛12頭が並んだ。審査の結果は「2面・受賞おめでとう！」に掲載。

今泉の「草山」功さん(47)

今泉で理・美容室「KIT HAIR」を営む草山功さん。秦野市出身で、美容師の専門学校を卒業後、厚木市にある美容室で13年間腕を磨いた。その後2004年に同店をオープン。妻と4人のスタッフと共に老若男女を問わず幅広い世代の来店者を笑顔で迎えている。

愛される店づくりを

http://www.kithair.com

「来店したお客さまに喜んでほしい」といふ気持ちから、お

協同組合フェスタにご来場を

11月3日 市民の日

JAはだの11月3日(日)、協同組合を市民面プロムナードで「協同組合フェスタ」を開き、時間午後10時から午後3時まで。会場では、JAグループが取り組む「みんなのよい食プロジェクト」をPRします。また、地場産農産物や農産加工品の他、JAオリジナルキャラクター「びーなマン」のベビーカーステラ

動物を身近に

まつりで畜産業PR

秦野市畜産会は6日、園で「令和元年度秦野市東田原の田原ふるさと畜産まつり」を開いた。

動物を身近に

まつりで畜産業PR

秦野市畜産会は6日、園で「令和元年度秦野市東田原の田原ふるさと畜産まつり」を開いた。

動物を身近に

まつりで畜産業PR

秦野市畜産会は6日、園で「令和元年度秦野市東田原の田原ふるさと畜産まつり」を開いた。

当日は、第63回畜産共進会も併せて実施。生産者が丹精して育てた乳牛12頭が並んだ。審査の結果は「2面・受賞おめでとう！」に掲載。

地域と連携し取り組み強化

丹沢山系の麓に位置し、豊かな自然に恵まれている秦野市。一方で、鹿やイノシシなどによる農作物への被害が深刻化している。こうした中、はだの都市農業支援センターは、農作物を守るために鳥獣被害対策協力員らと連携し、被害軽減に向けて対策に取り組んでいる。



「管理体制の強化に向
おりの開口部の動き
に出た交換状況、害獣が
に管理する農家
に聞き取りも行
い、今後の管理
の徹底を呼び掛
けた。

「おりを管理す
る名古屋の堀川
昭夫さんは「お
りの巡回は管理
者にとって良い
意識付けになっ
ている。みんな
で声を掛け合っ
て情報を共有し
ながら、餌の設
置など管理を徹
底していく」と
意気込む。

タマネギ資材キャンペーン



J Aグリーンはだのは11月2日（土）～10日（日）、タマネギ栽培関連の資材キャンペーンを実施します。農薬や肥料、マルチなどを特別価格で販売しますので、お得なこの機会にぜひご利用ください。

お問い合わせはJ Aグリーンはだのまで。☎81-7719

野市議会議長賞 三杉武久・ケイトウ（今泉） 金賞・秦野市農業委員長 長賞・柳川賢治・小菊屋（平沢）◎金賞・神奈川県園芸協會長賞 亀崎善太郎・小菊（小薺毛）◎金賞・神奈川県花き園芸組合連合會長賞 加藤政市・小菊 平沢 ◎金賞 加藤宗雅・小菊（平沢）柳川賢治・小菊（平沢）他一点 山口富治・キヤウ（横野）高橋金作・小菊（立野台）	園管理共進会を開いた。審査の結果は次の通り。 ◎優秀賞 三川正己（曾屋） ◎優良賞 稻本保廣（曾屋） ◎佐藤一郎（曾屋） ◎佳良賞 稻本耕司（曾屋） ◎尾澤健一（南矢名）
◇ 第63回秦野市畜産共進会が6日、東田原で開催された。審査の結果は次の通り。 ◎グラントチャンピオン▽乳牛の部▽原秀徳	果樹部会が柑橘部は16日、市内圃場を巡回し、優良園管理共進会を開いた。審査の結果は次の通り。 ◎優秀賞 尾澤健一・青島、大津（南矢名）◎優良賞 中村誠治・大津（曾屋） ◎遠藤宣治・大津（曾屋） ◎加藤金治・青島（平沢） ◎佳良賞 宮村真樹・大津（北矢名） ◎志村岸勉・大津（寺山）

「はるみ」など品質上々

人は所属している。協力員は、捕獲おりやくくのわなを使用した有害鳥獣の捕獲、農家らへの捕獲指導などに取り組む。

任命式では、協力員に同会の役割や市内の有害鳥獣に

「はるみ」など品質上々

JAはたのは9月24日
ら、本所と大根支所
、2019年産の米の
荷と検査を始めた。今
は7月の長雨や収穫前
台風の影響が懸念され
ている。

たものの、品質は上々。
11月7日までに「はる
み」や「コシヒカリ」な
ど2840袋（1袋30
キ）約85トの集荷を見込
んでいる。

大。JAも良質な「は
み」の出荷を増やす
め、現地検討会を開い
栽培管理や収穫適期な
を指導し、生産を積極
にバックアップして
た。

●采伐期・出荷期を逸す
目を栽培する花き分野では、一部を除き完全にオールイン・オールアウト方式は難しいのですが、次の点に注意して管理し、病虫害防除に努めてください。

春の出荷ピークを終える5月、冬の出荷ピークを終える12～1月を目安に、温室内に残った株を一斉に廃棄してください。

シクラメンの炭そ病は伝播力（でんぱりょく）が強いので、通常の灌水（かんすい）作業や管理作業の際、気付かないうちに次作苗へ垂直伝播し

よる被害状況など
を説明したた
後、山口政雄組
合長が任命証を
手渡した。山口
組合長は「協力
会の一員とし
て、存分に力を
発揮してほし
い」と呼び掛け
た。

農家④と米の品質を確認するJA職員

で、検査員を務める。豊農課の職員が、農家に持ち寄った595袋を、検査すつチェック。粒をばらばらにやつや、充実度などを検査し、等級を付した。集荷した米は「名産米」として、JA全農を通じて県内の学校給食に供給していく。

オールイン・オールアウト方式に準じた管理

▲「枯れ果」を「存果」に近づけるには、花の着いた枝を摘み、花の着いた枝を速やかに一斉廃棄する。

アザミウマ類とそれらが媒介するTSWV、INSVなどのトスポウイルスが原因で病害が多発する園では、同じ温室内に採花期または出荷期を逸した株が放置されていることがあります。この温室内単位で土壌を消毒し、

▼同じ温室内で作型が重ならない品目を選ぶ

アザミウマ類は土中で蛹化（ようか）するたため、地上部を一掃しても、しばらくの期間、土中にさなぎが生存しています。切り花は株ごと抜き取った後、原則として温室内単位で土壌を消毒し、

ていんと考えられます。自家採種する園では、採種株に無病株を選ぶのとが前提ですが、炭そ病、菌は外見上、病徴の無い株にも潜伏していることがあるため、採種株と次作苗は別温室で管理し、灌水用具なども消毒した後に使用するように心掛けるべき。 （藤平）

文芸の窓

千枚田オーナー募る古案山子	主逝き藍衣の案山子捨て	愛されし案山子の姿今は	水引の帯や紅白孫曾孫	お女郎の肩の白塗り秋の	盆踊り微妙にゆびの先の	蔓引けばひろがる景色烏	交番にゆるる提灯秋まつり	好々爺顔が案山子になつて	夕日影威を前面に枯蟬囀	輪唱のごとく波打つす	路地裏の静けさが好きこ	高速度路捨て田に去年の捨て
吉田	おかる	菊池としえ	志賀	芦川	志田	柴崎	高橋	柳川みち子	佐藤英美子	森高	高島美和子	高島美和子
清美	清美	明子	明子	松江	惠美	和子	順子	栄町	南矢名	由子	名古木	名古木
沢	沢	村	八	沢	南が丘	沢	大秦町	栄町	南矢名	沢	名古木	名古木
選	選	提	提	提	丘	丘	町	町	町	町	町	町

【短歌】（久保守 富男 選）
 夫いらぬと書かせ離婚届持ちゆきし
 母を恨みても五年経ぬ
 評 内容の重い歌。峰 孝子（千村）
 由もないが、一人の人生がいやうな
 しに蹂躪（じゅうりん）されてしまつた。誠に甘つた
 たことが伝わってくる。
 戦争の埋火いまだ燦ざれり
 時は令和と移りてもなお
 目覚めたら髪整えよ亡き母の
 教え給いぬ未だ忘れず
 境界の間際植えし琉球の
 朝顔伸びて隣地を冒す
 敬老会余興カラオケにぎやかに
 新曲登場令和の元年
 八木 実（鶴巻北）
 石田（すゑ）（水神町）
 伊東 久（渋 沢）
 あらかたは息子にたよる身なれども
 作物の収穫期となれば心懸けり
 今井 かめ（羽 根）
 百日紅の残花こぼるる寺に思ふ
 唐人お吉の一世の無残
 選者

今月の理事会

10月21日に理事会を開催し、次のことを審議しました。 ▽半期開示内容（ディスクロージャー）について	▽2019年度農業主たる開催について ▽JIAはだのケアセンタ－運営規程（指定訪問介護事業等の一部変更について
--	---

業安全標語の入選作品
決まった。
農作業の安全対策意識
高揚と、農業労災保険
入を促進することを目
に募集。今年は64人か
173点の応募があつ

家の光
今月の新刊

最強の朝ごはん

患者が素戔すさ、い
切朝ごはんを簡単に作
効果の高い食事に注
法を紹介。オリーブ
させたソラを掛ける
、糖尿病の高血圧
防になる。作り易
定価1,000円(税別)
にゃんこ

2019年度農作業 安全標語が決定

入選作品はJ Aカレンダーに

秋期農作業安全運動の一環として、7、8月にJA機関紙で募集した農

農家 2 飯 秦野の スィートポテト 西支部 飯田 節子さん 材料（5個分） サツマイモ200g、A ジャガイモ100g、油少々



ーム20g、卵黄1/3個

＜作り方＞

- ① サツマイモを輪切りにし、皮をむいて水にさらす。
- ② ①を15分くらい蒸す。
- ③ 軟らかくなったらマッシャーでつぶし、熱いうちにAを入れてよく混ぜる。
- ④ 生クリームを少しずつ加えながら混ぜる。
- ⑤ 成形してアルミカップにのせ、表面につや出し用の卵黄を塗る。
- ⑥ トースターで焼き色を付けたら出来上がり。

＜ひとことアドバイス＞

サツマイモをよくつぶすことで滑らかな食感になります。調味料の量は好みに合わせて調整してください。



医者が実践する、い
 めの朝ごはんを簡単にす
 康効果の高い食事にす
 方法を紹介。オリブ
 イルとハルサミコ酢を
 わせたソースを掛ける
 けで、糖尿病や高血圧
 予防に役立つ。作り方
 やアレンジレシピも。

定価 1,000円(税
 み)

油揚げ、豆腐、
 こんにゃく

有元葉子 著

「運動会」



JAデイサービスセンターはだのイベントやボランティア活動を紹介しています。

◆ 当センターでは、利用者の健康増進などを目的

楽しいよ
デイスービス

10、11の両日に開催した運動会では、JAはだだのオリジナルキャラクタ

の本来のおいしさに出会えるレシピ集。料理に合った切り方や、炒める・煮る・焼くなど素材に合

税務相談日 11月8日（金） 午前9時30分～ 法務相談日 11月19日（火） 午後1時30分～ 場所 本町支所 予約制ですので、事前にお電話にてご予約をお願い します。受け付け順に相談時間が決まります。 受け付け・ご予約は麻協同コンサルトはだの	結婚相談日 11月10日（日） 時間 午前9時～正午 場所 本所農業団地センター 1階 お問い合わせ 組織教育課
--	--

定価1760円（税込）

JAバンク神奈川

人生100年時代に備えて、早めの準備始めませんか？

投信つみたて

JAバンクで
資産形成!!

年金相談会

これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きの
お手伝いをさせていただきます。

日時・場所 **11月1日(金)西支所**
11月7日(木)本町支所

※時間は午前9時～午後4時まで どなたでもご相談いただけますので、お気軽にご来場ください。

事前予約を
されると
便利です

●年金受給手続きを相談される方は

信用課 TEL.81-7716 当日は ☎0120-954-092

ご来場の方に
記念品を進呈

2019年
10/1

2019年
12/27

キャンペーン

期間中にキャンペーンに応募いただき、投信つみたてサービスを
 新たにご契約
 いただいた方
 または
 増額いただいた方
 に
 クオカードを
 プレゼント！
 契約金額の純増金額に応じて

(※) 景品の発送は2020年4月を予定しています。(※) 景品送付先につきましては、投資信託口座開設にあり、お届けいただいている住所と異なります。

詳しくは各支所・支店または信用課まで TEL. 81-771

告知板

詐欺にご注意を
近隣JAでは、百貨店や全国銀行協会の職員を名乗った詐欺が発生しています。言葉巧みにクレジットカードを訪問者に渡すよう指示し、訪問者に渡すと、カード番号などが盗まれるという口実で、カードを渡さないようご注意ください。少しでも「おかしいな」と思ったときは、一人で抱え込まず、警察または最寄りのJA窓口にご相談ください。

ウインターパーティーを開催
結婚相談事業の一環として「ウインターパーティー」を開催します。今回は女性(50歳未満)の方を募集します。新たな出会いの第一歩としてぜひご参加ください。
◎日時 2019年11月30日(土)午後1時30分～同4時30分
◎場所 本町支所2階多目的ホール
◎募集人数 15人程度
(定員になり次第締め切ります)

◎参加費 2,000円
◎申し込み期限 11月15日(金)まで。なお16日(土)、17日(日)の農業まつり会場内でも申し込みできます。
◎申し込み方法 電話を申し込みながら、お申し込みください。
◎申し込み先 本所農機センター
◎対象者 JAはだの組合員
◎内容 チップターの取り扱い方法について
お問い合わせは農機センターまで。☎81-8394

◎日時 11月20日(水)午前10時～午後4時
◎場所 本所農業団地センター2階 調理実習室
◎内容 午前は、県農業技術センターの職員による栄養成分表示についての講義。午後は、個別の相談を受け付けます。
お問い合わせは生活福祉課まで。☎72-7661

◎日時 11月17日(日)
◎会場 本所農業団地センター
◎日程
▽搬入 11月15日(金)午前8時30分～同10時30分
▽審査 11月15日(金)午後1時から
▽一般公開 11月16日(土)～17日(日)
▽表彰式 11月17日(日)午前11時30分～同1時30分
◎即売 11月17日(日)午後1時から
◎出品
▽出品物は、市内の農業者が自ら生産した農産物または加工品で、同一生産者から1品目につき1点とします。ただし、品種が異なればこの限りではありません。
▽11月15日(金)午前8時30分までに最寄りの支所へ、または午前10時30分までに本所農業団地センターに直接搬入してください。

▽出品物には、必ず出品票を付けてください。
▽優秀賞受賞の各賞最上位者(6人)には、高品質な農産物であることをPRしてもらうため、直売所への出荷などの際に貼るシールをお渡しします。
お問い合わせは市農業振興課まで。☎82-9626

じばさんず「周年祭」開催
じばさんずは11月9、10の両日、開店から17年目を記念し、店舗敷地内で周年祭を開きます。イベント時間は午前9時から午後3時30分まで。産地間提携先「アーマーズマーケット」や出荷者らが模擬店を出店し、農産物や加工品などを販売します。さらに、2,000円以上お買い上げの来店者を対象にした大抽選会などを実施しますので、ぜひご来場ください。
お問い合わせは、じばさんずまで。☎81-7707

じばさんずパート職員募集
じばさんずのパート職員を募集しています。働きやすい職場ですので、お気軽にお電話ください。
◎業務内容 レジおよび品出しなど
◎時給 1,025円
◎時間 午前8時～午後7時 ※時間内でシフト制
◎待遇 社会保険完備・交通費規定支給・車両通可など
お問い合わせは、じばさんずまで。☎81-7707

図書室のご案内
本所農業団地センター3階の図書室には農業をはじめ、料理やガーデニング、健康など、生活に役立つジャンルの本が5,000冊以上並んでいます。家の光協会出版の新しい図書の閲覧もできます。
◎資格 介護支援専門員、要普通免許、パソコン操作ができる方、実務経験のある方、介護保険認定調査ができる方歓迎します。
◎時給 1,500円
◎時間 午前8時30分～午後5時(休憩1時間)
◎勤務 週3日以上(月に1回土曜出勤有り、日曜・祝日は休み)
◎待遇 交通費規定支給、社会保険加入(週4日以上勤務の方)
お問い合わせはJAはだのケアセンターまで。☎83-7210

ぬいぐるみ人形供養祭を開催
JAセレニーホールはだのでは、ご自宅に眠る故人の人形・ガラスケースの取り扱いは不可。
お問い合わせはJAセレニーホールはだのまで。☎83-2727

旬の野菜などを使ったお手軽料理をご紹介します。
☆「お米の日」毎週水曜日 店頭価格から10%引き。
☆「肉の日」毎週木曜日と29日 店頭価格から5%引き。
◎11月12日(火)は定休日です。
※準備の都合上、イベントが変更になることがあります。ご了承ください。

【11月のイベント】
☆「ユースマルシェ」2日(土) 青年部員がサツマイモやトマトなどを対面販売します。
☆「果物フェア」3日(日) 秦野産や産地間提携を結ぶJAの旬の果物を多数ご用意します。
☆「国産豚の加工品」5日(火) ㈱フリーデンが国産豚を使用した加工品を販売します。
☆「周年祭」9日(土)、10日(日) 産地間提携先JAの特産品が勢ぞろい。2000円以上お買い上げで抽選会に参加できます。
☆「農業まつり」16日(土)、17日(日) 生産者手作りの加工品やじばカツなどの模擬店が並びます。
☆「はちみつ試食販売」23日(土)、24日(日) 生産者が蜂蜜を試食販売します。
☆「たまごの日」毎週月、金曜日 店頭価格から10%引き。「みるくべたまご」は除く。
☆「試食の日」毎週火曜日

ジャガイモやスティックセニョール、カボチャ「九重栗」など、露地野菜を年間約30品目
じばさんずがオープンした年から出荷を始め、今でもほぼ毎日出荷しています。消費者の立場で品目や価格などを考えながら出荷していますので、一生懸命育てた野菜を多くの人に手に取ってもらえたらうれしいです。
◎会期 11月15日(金)

第55回秦野市農産物品評会
農産物の栽培技術の向上と優良品種の普及および消費拡大を目指し、秦野市農産物品評会を開催します。
◎会期 11月15日(金)

じばさんず「周年祭」開催
じばさんずは11月9、10の両日、開店から17年目を記念し、店舗敷地内で周年祭を開きます。イベント時間は午前9時から午後3時30分まで。産地間提携先「アーマーズマーケット」や出荷者らが模擬店を出店し、農産物や加工品などを販売します。さらに、2,000円以上お買い上げの来店者を対象にした大抽選会などを実施しますので、ぜひご来場ください。
お問い合わせは、じばさんずまで。☎81-7707

図書室のご案内
本所農業団地センター3階の図書室には農業をはじめ、料理やガーデニング、健康など、生活に役立つジャンルの本が5,000冊以上並んでいます。家の光協会出版の新しい図書の閲覧もできます。
◎資格 介護支援専門員、要普通免許、パソコン操作ができる方、実務経験のある方、介護保険認定調査ができる方歓迎します。
◎時給 1,500円
◎時間 午前8時30分～午後5時(休憩1時間)
◎勤務 週3日以上(月に1回土曜出勤有り、日曜・祝日は休み)
◎待遇 交通費規定支給、社会保険加入(週4日以上勤務の方)
お問い合わせはJAはだのケアセンターまで。☎83-7210

ぬいぐるみ人形供養祭を開催
JAセレニーホールはだのでは、ご自宅に眠る故人の人形・ガラスケースの取り扱いは不可。
お問い合わせはJAセレニーホールはだのまで。☎83-2727

休日ローン相談会
住宅の新築・お借り換えやお車のご購入、お子さまの教育資金など、各種ローンのご相談を無料で承っております。お気軽にご相談ください。
日時 11月2日(土) 場所 本町支所
※時間は午前9時～午後4時
ご来場の方に記念品を進呈
ホームページより、事前予約と日程などの確認ができます。どなたでもご相談いただけますので、お気軽にご来場ください。
金利や貸付条件など、詳しくは各支所・支店または融資課まで ☎0120-954-093

運動会で健康増進



運動会は、玉入れや綱引きなど7種類の得点競技と、鈴割りや民謡など10種類のプログラムで構成。支部対抗リレーなどには支所長も参加し、会場は盛り上がりを見せた。
各種目では、女性部サポーターの部員が活躍。「運動会運営委員会」のメンバーは、本部役員と共に運動会の進行を担当した。今年から新たに結成した「体操・音頭普及委員会」のメンバーは、全員参加のプログラム「びーなマン体操」と「やえのちゃん音頭」で手本となった。
参加した部員は「いろいろな種目があるで、楽しみなが汗を流せて良かった。支部の仲間との団結力が強まったと思う」と笑顔を見せた。
結果は次の通り。
▽優勝Ⅱ支部(43点)▽準優勝Ⅱ南支部(40点)▽3位Ⅱ北支部(35点)

サポーター部員も活躍

女性部は3日、秦野市カルチャパーク陸上競技場で第39回女性部運動会を開いた。さまざまな競技を通じて、健康増進を図ることもに親睦を深めることが目的。部員ら約300人が参加した。
運動会は、玉入れや綱引きなど7種類の得点競技と、鈴割りや民謡など10種類のプログラムで構成。支部対抗リレーなどには支所長も参加し、会場は盛り上がりを見せた。
各種目では、女性部サポーターの部員が活躍。「運動会運営委員会」のメンバーは、本部役員と共に運動会の進行を担当した。今年から新たに結成した「体操・音頭普及委員会」のメンバーは、全員参加のプログラム「びーなマン体操」と「やえのちゃん音頭」で手本となった。
参加した部員は「いろいろな種目があるで、楽しみなが汗を流せて良かった。支部の仲間との団結力が強まったと思う」と笑顔を見せた。
結果は次の通り。
▽優勝Ⅱ支部(43点)▽準優勝Ⅱ南支部(40点)▽3位Ⅱ北支部(35点)

近所の家の庭に大豆が干してあったことがきっかけで、大豆の種まきからみそ造りがしなくなり、3年ほど前から女性部に入りました。下関は新しい家がどんどん増えています。夏にはまだ「カエル合唱」が聞こえる地域です。
役員は順番が回ってきて、新米班長になりました。班員は農家の方や勤めている方など4人で、私は家庭菜園を楽しんでいます。
それぞれの家も年齢も近く、ごみ出しや道で会えば立ち話。支部会の報告や『家の光』を届けに行けば世間話。そんな中で、女性部のことや農作業のことなどいろいろ教えてもらい、皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。
以前は、年に1度ほど食事をしていたそうです。皆さん忙しい日々ですが、また食事を開くなど、無理せず活動が続けたいと思います。

女性部は16、17の両日、企画旅行で福島県を訪れた。部員67人が参加し、観光しながら部員同士の親睦を深めた。
秋景色の企画旅行
福島県で観光を満喫

女性部は16、17の両日、企画旅行で福島県を訪れた。部員67人が参加し、観光しながら部員同士の親睦を深めた。
秋景色の企画旅行
福島県で観光を満喫

女性部は16、17の両日、企画旅行で福島県を訪れた。部員67人が参加し、観光しながら部員同士の親睦を深めた。
秋景色の企画旅行
福島県で観光を満喫

女性部は16、17の両日、企画旅行で福島県を訪れた。部員67人が参加し、観光しながら部員同士の親睦を深めた。
秋景色の企画旅行
福島県で観光を満喫